

授業科目名 ( 英文名 )	ドイツ語 1 ( German 1 )	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1 年次・前期
担当教員	小谷 一夫	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>言語的に英語と近い関係にあるドイツ語は、母語としてはEU（ヨーロッパ連合）で最も多くの人々に話されている言葉です。この授業は、コミュニケーション・ツールとしての基礎的なドイツ語運用力（聞く・話す・読む・書く）を身につけることを目的とした、ドイツ語入門講座です。</p>		
講義内容・授業計画	<p><b>【授業内容】</b>  さまざまな日常会話をとおして、ドイツ語の発音、語彙、基本的な表現、そして、ドイツ語という言葉のしくみを学んでいきます。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．導入～ドイツ語はこんな言葉</li> <li>2．発音の基礎</li> <li>3．自己紹介をする</li> <li>4．名前や職業を尋ねる</li> <li>5．飲み物を注文する</li> <li>6．あいさつ</li> <li>7．家族や友人を紹介する</li> <li>8．相手や第三者について尋ねる</li> <li>9．数詞</li> <li>10．必要なものがあるか尋ねる</li> <li>11．意見を聞く</li> <li>12．手紙を書く</li> <li>13．買い物をする</li> <li>14．時刻を言う</li> <li>15．まとめと評価</li> </ol>		
テキスト	板山真由美ほか著 『CD&ワークブック付き ベーシック版 自己表現のためのドイツ語プラス』 三修社 大学生協で購入してください。後期も継続して使用します。		
参考文献	適宜、プリントを配布します。		
成績評価の基準・方法	<p><b>【成績評価の基準】</b>  入門レベルのドイツ語運用力を修得した者に単位を授与します。  講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまで成績を与えます。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  試験、レポートをもとに総合的に評価します。  成績評価の方法については、新型コロナウイルスの感染状況により変更する場合があります。</p>		
履修上の注意・履修要件	・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境（PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境）が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない。		
備考			